

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月1日

事業所名 重症心身障がい児福祉ルームみらい野芥

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			法令を遵守したスペースの確保をしている。
	2 職員の配置数は適切である	○			必要な職員配置を行っている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内に段差はあるが、あえてその場所を機能訓練などの際に最大限に利用している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日支援会議を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		一年に1回要望書を依頼し意向等取り組むようにしている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに掲載している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	△			社外からのアドバイスは積極的に取り入れ、業務改善を行っている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修には積極的に参加してもらっている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		適宜アセスメントを実施。普段の会話の中でもニーズを拾い出し計画書に反映させている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎回皆で立案し取り組んでいる。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の活動など取り組むように努力している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		児童の滞在時間に合わせ、適応した課題設定を行っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		一人ひとり、児童の特性に合わせた活動を実施している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎回支援会議を行い目標設定し、役割分担もやっている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼の際に振り返りを行い、次回につなげられるようにしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		適宜モニタリングを行い、計画書の見直しを行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には管理者や児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との連絡ノートもあり、引き渡しの際も必ずその日の状況など必ず確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医の指示書を作成して頂き、何かある際は受診の際などに相談して頂く。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		卒業生がまだいないため実施できていない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や電話、送迎の際などに情報共有を行っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約に際などにきちんと説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援の方法などお話があった際は一緒に考え、実施できるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった際は、すぐに対応し、スタッフへ周知を行うとともに改善できることは迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページに日々の様子を掲載している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		取り扱いには十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルは作成している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		必要な訓練は定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を実施して防止に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットがあった際は必ず報告書を作成し再発防止に努めている。	